

「絶対に忘れてはいけないことがある」

－愛知黎明高校生徒会募金活動報告－ 「稲沢 教育を考える初夏のつどい」(6/11)より



6月11日、稲沢の中和医療専門学校を会場にして「稲沢 教育を考える初夏のつどい」が開催されました。

午後の部プログラム2番目は愛知黎明高校生徒会による被災地支援募金の活動報告です。久戸瀬鈴茄さん(301)と竹城茜音さん(303)の二人は、東日本大震災の時は小学校5年生。映像で流れる被災地の状況を現実として受けとめる事がなかなかできなかったそうです。

黎明高校生徒による募金活動に参加するなかで、笑顔で募金してくれるお年寄りや小さな子ども、「黎明高校さんはがんばっているね。」と声をかけてくれる方々に、人の温かさを改めて感じる事ができました、と竹城さん。久戸瀬さんは以前は募金活動をしている人がいても足を止めることはなかったそうです。でも自分が募金活動で街の人から励まされるうちに募金活動に足を止めようと思ったと言います。

「絶対に忘れてはいけないことがある。これからも被災地支援募金に取り組んでいきます。」という言葉で二人の報告が終わりました。

『21世紀型学び』第3号では自主活動分野における「21世紀型学び」として本校の栗山リンダさんとお母さんが父母懇1日研修で話した報告が載っています。久戸瀬さん、竹城さんの報告とあわせ、狭い学力にとらわれず生徒達の人間としての豊かな発達を保障する学校でありたいと改めて思いました。



群舞を披露する愛知県高校生フェスティバルの生徒達。

左は加々良向日葵さん(203) 右は三輪さくらさん(204)